

陸閘操作訓練を実施しました

岩手河川国道事務所一関出張所では、6月15日(火)に洪水を想定した陸閘の操作訓練を道路管理者である一関市・平泉町と合同で実施しました。

当日は、「平泉陸閘」「中里陸閘」共に道路を通行止めにして門扉の開閉操作を行い、全閉後に隙間などの異常箇所がないか点検を行いました。

点検の結果、両陸閘とも異常はありませんでした。

平泉陸閘



門扉がしっかり閉まるよう溜まった土埃などを掃除します。

中里陸閘



実際に門扉を動かして異常がないか確かめます。
結果、異常なし!



そもそも陸閘ってなに?どんな役割があるの?

陸閘とは、堤防の中を横断する道路に門扉を設置したもので、普段は河川敷や遊水地へ直接入ることができる道路のように見えますが、洪水時は、門扉が閉められ堤防としての役割を果たします。



※バックナンバーはこちら

http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/syuttyoujo/itinoseki/2021/2021_ichinoseki.htm

編集後記

東北地方も19日に梅雨入りしました。最近、雨の降り方も変わってきており、日本全国いつでも大規模水害が起きてもおかしくないような状況なので、みなさんも十分な備えを。(く)